

取組・活動名		「コロンビア女子ユースラグビーチームと交流しよう」				
校種・学年		小学校・第6学年			教科等	特別活動・総合的な学習の時間
カテゴリー	歴史・意義	アスリート	多様性	日本人	時間・学期等	【2学期】 2時間
	国際感覚	ボランティア	伝統・文化	(その他)	準備等	・放送機器 ・カラーコーン ・ラグビーボール 等
プログラムのねらい						
<p>○交流をとおして、異文化に対する理解を深める。</p> <p>○講演やパス練習等をとおして、ラグビーに対する関心を高める。</p> <p>○「おもてなし」の精神で、温かく迎えることができる。</p>						
児童・生徒の実態						
<p>○児童は、学校教育活動や日常生活において外国の方と関わるのが少ない。外国語（外国語活動）の時間には、英語を使って簡単な挨拶や会話を行ったりしているが、恥ずかしさもあって、自分から積極的にコミュニケーションを取ることが難しい児童もいる。</p>						
プログラムと既存の学習との関わり						
<p>○第6学年児童は、総合的な学習の時間に国際理解教育について取り組んでおり、1学期に様々な国について調べ、まとめている。</p> <p>○ラグビーについては、平成29年度より体育の時間に中学年でタグラグビーを取り組みはじめたが、本実践を行った第6学年は未体験の活動となる。</p> <p>○加須市は、コロンビアのホストタウンとなったため、今後オリンピックに向けて柔道や陸上、重量挙げの代表選手らが訪れる予定である。</p>						
指導計画・評価計画						
【指導計画】						
〔事前〕						
○コロンビアについて、簡単に調べる。(国旗、言葉 等)						
○女子ユースラグビーチームを迎える準備をする。(旗、合唱 等)						
○ラグビーの基本的なパスの仕方について学ぶ。						
〔事後〕						
○振り返りを行い、講演や実演をとおして学んだことを自分の言葉でまとめる。						
【評価計画】						
○交流をとおして、異文化に対する理解を深めている。						
○講演やパス練習等をとおして、ラグビーに対する関心を高めている。						
○「おもてなし」の精神で、温かく迎えている。						

本時の学習指導

(1) 本時の目標

- 交流をとおして、異文化に対する理解を深める。
- 講演やパス練習等をとおして、ラグビーに対する関心を高める。
- 「おもてなし」の精神で、温かく迎えることができる。

(2) 展開

「コロンビア女子ユースラグビーチームと交流しよう！」

- ①オープニングセレモニー
 - ・水深太鼓倶楽部6年生による迎え太鼓
 - ・始めの言葉
 - ・コロンビア女子ユースラグビーチームの紹介
- ②コロンビア女子ユースラグビーチームによるお話（自己紹介を含む）
- ③ラグビー体験
 - ・パスの実演
 - ・ボールに触れてみる
 - ・向かい合っでのパス交換（リレー方式）
 - ・横並びでパスをしながら走る
- ④コロンビアについて紹介（コロンビア関係職員）
- ⑤歌のプレゼント



(3) 振り返り

※ 講演をとおして学んだことや感想を記述する。

(4) 備考

- ・本実践では、交流後に児童と給食を食べる時間を設定した。食事をしながら会話をすることにより、児童と選手との距離が近くなった。
- ・本実践の実施時数は交流の2時間であるが、合唱練習や準備等を含め、計画的に進めるとよいと思われる。

成果	おすすめポイント
○言葉によるコミュニケーションは難しいが、選手と一緒に活動することにより、パスや手拍子などをして交流を楽しむことができた。 ○コロンビアやラグビーに対する関心を高めることができた。	○実体験を踏まえた交流は、一緒に活動を楽しむことができ、互いに笑顔が多くなり、親しみをもつことにつながる。
	“次代に語り継ぐ”ポイント ○コロンビアの選手と交流することにより、今後、来日する際にも、親近感をもって温かく迎えることができる。